



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



馬を水辺に連れて行くことはできるが水を飲ませることはできない



このことわざは、イギリスのことわざで、馬を水のところに連れて行くことはできても、馬が水を飲むかどうかは馬自身が決めることであり、無理矢理、人が飲ませることができないという意味です。周りの人がいろんな機会を与えて支援することはできるが、最終的にそれを実行するかどうかは本人のやる気次第であるという教訓が込められています。

私の好きなテレビ番組の一つに「下町ロケット」があります。小さな製作所で、様々な逆境にも負けずにロケットのエンジンを作るというお話です。このお話の基になったのが、植松電機の植松 努さんです。植松さんの会社には、毎年たくさんの修学旅行生がロケット教室に訪れるそうです。植松さんは、修学旅行生に説明書を渡したら、後は一切教えないそうです。植松さんの著書の中で『完成した後の「自分でやった感」「自分でできた感」がまるで違います。自分でやった感があるほどに、「自分のは、きっと失敗する。だめかもしれない」という気持ちが強くなります。だからこそ、打ち上げたときの喜びが大きくなります。やらされ感いっぱいロケットだと、作るのも打ち上げるのも面倒です。打ち上がった嬉しくないのです。』と語っています。

「自分でやったのか」「やらされたのか」は、行為は同じでも、大きな違いがあります。失敗したときに、「やらされた」人は必ず人のせいにします。一方、「自分でやった」人は結果の責任も自分で受け止めることができます。

平林小学校では、子どもたちに、小さなことでも自己決定をさせていきます。自己決定は当事者意識を持つことにつながり、自分の行動に責任を持つ自律につながります。



4・5・6年生が、隔週でクラブ活動を行っています。今年度から、「NPO 法人希楽々」の方と、公民館の方にそれぞれクラブを一つずつ担当していただけることになりました。公民館の方からは、第1回目のクラブとして、「かみはやし大学園芸クラブ」主催の「縄ない体験」を行っていただきました。今後も、子どもたちと地域の方々がふれあう機会を設けていきます。素敵なアイデアがありましたら是非、校長までご連絡ください。

平林小学校 校長 遠藤 直人

1学期 楽しく 元気に スタート

令和6年度がスタートして一か月が経ちました。「1年生を迎える会」や「たてわり班の顔合わせ」など1年生16名の新たなメンバーを迎えて、上級生たちはウキウキしています。5月になると運動会など学年を超えての活動が増えていきます。1年生が学校に慣れていくことはもちろん、上級生の先輩らしい行動を育てるチャンスでもあります。おうちの方からも「がんばってるね」の一言を掛けてください。



1年生を迎える会
全校ゲーム じゃんけん列車



1年生の自己紹介



危険箇所点検 あいがとうございます

4月12日(金)の危険箇所点検ありがとうございました。PTA育成部が中心になり、おうちの方と児童、教員が一緒に地域のことを知る大切な活動です。命を守るための確認です。十分に分かっていることでも、年に1回は確認することが大切だと思います。何か気付かれたことがありましたら、学校までお知らせください。

今年度もやります！「超ロング昼休み」

子どもたちにも好評な「超ロング昼休み」。今年も月1回の予定で行います。初回は4月18日(木)に行いました。地域の方や保護者の方から参加していただき、『トントン紙相撲』と『スポーツスタッキング』に挑戦しました。トントンではなく、ドンドンと叩き「やったー！勝った」の歓声や「よっしゃー、4秒台」と達成感に浸る声が松の子ルームに響いていました。

一緒に楽しんでいただける方大歓迎です。5月14日(火)、6月25日(火)開催予定です。



運動会（5月25日）実施のお知らせについて

運動会実施の可否については、告知端末で6時30分に放送します。